



里ぶら・歴史ウォーク

地元在住の「里ぶらファミリー」と一緒に飛鳥地域を旅します。
日本はじまりの地「飛鳥」の深い歴史、豊かな自然、
そして人とのつながりを体感しながら、気づき・理解を深めることがコンセプトです。

里ぶら・歴史ウォークとは？

①新たな価値観・気づきを得る

初めて出会う「里ぶらファミリー」と一緒に歩き、歴史・まちなみ・風景などについて意見を交わし、話し合います。自分とは異なる価値観に触れることで、新たな気づきを得ることができます。

②日本の国のルーツを旅する

日本はじまりの地を歩き、過去と現代を比較しながら、私たちの国についての理解を深めます。この土地に住む人がからこそ知っている「コト・モノ・場所」と出会えます。

③共に意見を出し合い、学びを深める

史実に触れ、観察し、里ぶらファミリーと対話しながら、今と昔の違いを考察します。発言が苦手な子もスムーズに意見を出せるよう里ぶらファミリーがファシリテーターとして導くことで、主体的、対話的な学びができます。

④SDGsに関することを学べる

持続可能な開発目標が掲げる17の目標のうち、「④質の高い教育をみんなに」「⑤ジェンダー平等を実現しよう」「⑩住み続けられるまちづくりを」「⑩パートナーシップで目標を達成しよう」について学ぶことができます。



フィールドノート



▲認定証をお渡しします！



里ぶらファミリーと
楽しみながら飛鳥を歩いてみませんか

どうして飛鳥なの？

聖徳太子や天武天皇など、歴史上の人物が日本のかたちを築き、はじめて「日本」という国号が使われた場所が「飛鳥」です。飛鳥時代の中心となった現在の明日香村では里山の風景を守り続けるために、景観保護条例（通称：明日香法）が制定されています。そして、地域住民と行政が力をあわせて景観を保全している全国的にも珍しい特別な地域です。



飛鳥とSDGsのつながり



飛鳥は1400年以上も前から、先進的な取組みがなされてきた場所です。当時、開発途上であった日本は、海外から最先端の技術や文化を受入れてきただけでなく、女性天皇が立つなど、女性も活躍していた場所でした。つまり、飛鳥は古の時代からSDGsで求められる目標が達成できていた場所とも言えます。飛鳥地域を旅することで、現代の私たちが直面しているSDGsの課題について学び、考えることができます。



基本プラン

所要時間：3時間～4時間

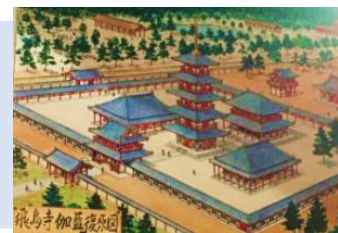
料金に含まれるもの：事前学習資料、フィールドノート、コース案内、施設入場料

受入可能人数：150人まで（班別プログラム：1班 5～6名）



コース例

- 石舞台古墳 ⇒ まちなみ（景観）⇒ 飛鳥宮跡 ⇒ 飛鳥京跡苑池遺跡 ⇒ 飛鳥寺 ⇒ 飛鳥池工房遺跡 ⇒ 万葉文化館（約2 km 4時間）
- 甘樫丘 ⇒ 飛鳥水落遺跡 ⇒ まちなみ（景観）⇒ 入鹿首塚 ⇒ 飛鳥寺（約1.5 km 3時間）



お問合せ

TEL:0744-54-1525

〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地

Email : info@yamatoasuka.or.jp

HP : http://yamatoasuka.or.jp



一般社団法人
大和飛鳥ニューツーリズム



(202304.ver1)